

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	愛媛優良住宅ネット			
H30採択グループ番号	07	—	0540	— 0528

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	配分された補助金枠を全て活用することを目指し、施工工務店に提案を行った。また、完成見学会を行い「四季を感じるCoCo家いい住宅」を紹介し、次年度の事業活用に繋がるように取り組んだ。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/29	名称	平成30年度地域型住宅グリーン化事業説明会	●		
	内容	事業の概要や昨年度からの変更点、グループの取組についての説明を行い、質疑応答で終了した。							
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/02/23	名称	完成見学会	●		
	内容	事業を活用した住宅の完成の際に見学会を実施し、来場者に「四季を感じるCoCo家いい住宅」の取組について紹介した。							
	消費者説明会 2		開催日		名称				
	内容								
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/05/29	名称	成約率UPの為のライフプラン診断勉強会	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有					●
	内容	事業内容の注意点や取組のフローなどの資料を作成し配布した。また、事務局が申請書類の作成のサポート、必要に応じて工務店を訪問してサポートを行い、工務店の負担を軽減した。					
取組み ②	サポートの有無 2						
	内容						
取組み ③	サポートの有無 3						
	内容						

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	住宅履歴の図書館	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	グループ構成員で臨時総会を開き、所有者の希望を聞きながら情報を引き継ぐ。ハートシステムによる完成保証の推奨を行う。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①		
内容	5月29日の「平成30年度地域型住宅グリーン化事業説明会」の際にZEHの資料を配布し説明を行った。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容	省エネルギー技術者講習の未受講の工務店に開催日を案内し受講を促した。	
BELS工務店の登録数	2 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	愛媛優良住宅ネット				
H30採択グループ番号	07	—	0540	—	0528

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/08/05	名称	平成31年度地域型住宅グリーン化事業説明会		
	内容	構成員を集めて説明会を開催し、今年度の事業内容についての説明を行い、各工務店に積極的な活用を提案する。特に新規参入の工務店に活用してもらるように提案を行う。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/12/22	名称	完成見学会		
	内容	完成見学会を行い「四季を感じるCoCo家いい住宅」の取組について来場者に紹介する。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2020/02/16	名称	完成見学会		
	内容	「四季を感じるCoCo家いい住宅」の完成後に見学会を行い、家づくりに関するお金についての説明会の実施を予定している。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/05	名称	住宅履歴についての研修	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2020/01/30	名称	断熱施工に関する研修	タイプ	座学
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店が申請を行う際には個別に訪問し、留意点等の説明を行い申請書の作成などのサポートを実施する。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	認定申請のための適合証、BELS評価書の取得を構成員の評価機関と連携を取りサポートを行う。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	住宅履歴の図書館
------------	----------	-----	----------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ構成員で臨時総会を開き、所有者の希望を聞きながら情報を引き継ぐ。ハートシステムによる完成保証の推奨を行う。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	今年度実施予定の省エネ講習の開催案内を設計・施工構成員に案内し、受講を促す。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	流通構成員が施工構成員に断熱仕様の提案を行う。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/10/08				
内容	省エネ改修型の取組を希望する工務店を集め、事業内容などの説明を行う。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	愛媛優良住宅ネット				
H30採択グループ番号	07	—	0540	—	0528

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>愛媛県内は比較的温暖なエリアだが、最高気温と最低気温が2倍ほどある。断熱等級4以上の家で設備性能も重視し開口部も樹脂・複合樹脂サッシを推奨することで、夏は涼しく、冬は暖かい快適な住宅とする。</p> <p>また、南海トラフ地震が予測されることから耐震等級2以上の建物を推奨し、在来に関しては耐震パネルを極力採用、床には剛床を使用し耐震性を確保する。又合わせて耐震性・耐火性に優れている2×4工法の採用も推奨する。</p> <p>降水量が少ないことから、節水水栓・節水便器を採用し、可能な限り雨水タンクも設置する。</p> <p>ここ最近、異常気象が増加しており地震と台風にも強い家を目指す。</p>	●
----	--	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	有	在来木造軸組工法を用いる場合は、主要構造部の50%に合法木材を用いる。 2×4住宅の場合は、主要材の一部を含む使用できる部材を地域材とする。			
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無				
造作材	枠材、廻縁等	無				
板材	壁板、床板等	無				

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達の見直しに向けた取組み	有	
内容	建材流通(Ⅲ)で出来る限り素材商品(合板・ボード)については集中購買を行う。	
② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	製材・建材流通(Ⅱ・Ⅲ)は安定供給に努める。 建材流通(Ⅲ)で出来る限り素材商品(合板・ボード)については、集中購買を行う。 設計・施工(Ⅴ・Ⅵ)は規格材となる使用になるよう努める。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	プレカット(Ⅳ)事業者と原木供給(Ⅰ)事業者との在庫情報を密に取り合う。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	施工事業者で、一部ツーバイフォー案件が含まれており、地域材を極力使用するようにするが、できる限り国外の合法木材を使用することで認める。(耐震性に優れているため、有効と判断します)	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	定期点検の際には、瑕疵担保保険の点検項目に沿った内容でチェックする。また、報告・聞き取りを行い、記録を各社で保管する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	構成員の中で数社物件管理ソフトを導入しており、長期的に向けた検査体制が確立されている。自社でルールが無ければ、管理ソフトを推奨していく。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	数量での一式等のあいまいな記述をせずに数量の記入を心掛ける。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	ライフプラン診断士協会のライフプラン診断士によるライフプラン診断を行い、お施主様が安心して住宅建築、購入できるようにアドバイスを行う。 住宅の供給勉強会を繰り返し開き、新しい知識をしっかりと定着できるようにする。 また、その技術力とレベルがエンドユーザーに理解されやすいよう説明資料などを作成し配布する。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	週休二日制の導入を勉強会等で提案していく。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	メーカー主催の説明会・研修会があれば案内する。
③ 社会保険への加入	有	内容	説明会等で未加入者には社会保険加入の要請を行う。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	健康診断を年に一度受けるように説明会等で推奨する。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	愛媛優良住宅ネット				
H30採択グループ番号	07	—	0540	—	0528

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	出来る限り使用する。
② 和瓦の活用	有	内容	台風、地震への備えとして防災瓦の使用を推奨する。
③ 襖・障子の活用	有	内容	畳の活用と併せて襖・障子の活用を推奨する
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	砥部焼を使用した洗面器の推奨。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	手刻み加工の継承の推奨も行う。グループ内で情報交換を行う。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	施主に対して適切な維持管理を分かりやすく理解していただく資料提供を行う。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	周辺環境との調和のとれた基調色・デザインとする。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
<p>東北・熊本県・北海道の産業からの材料を出来る限り使用する。 また愛媛エリアは地域型住宅の供給対象地域の為、復興に関する協力は出来る限り応じる。</p>
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
<p>構成員の安否確認を迅速に行える体制を整え、被害状況の把握に努める。</p>